

連合三重 男女平等参画 トツプ宣言

連合「第4次男女平等参画推進計画」を着実に実行することにより、男女が対等・平等で人権が尊重され、役割と責任を分かちあう男女平等参画社会が構築されます。
連合三重は構成組織・単組・地協と連携し、「3つの目標」の達成に向けて取り組みます。

運動の目標

- 目標1：働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）の実現と女性の活躍の促進
- 目標2：仕事と生活の調和
- 目標3：多様な仲間の結集と労働運動の活性化

女性活躍推進法が施行され、男女平等参画推進の取り組みを、今後更に充実させなければなりません。連合がめざす「第4次男女平等参画推進計画」について、構成組織と地域協議会とが一体となり推進を図ります。

会長 吉川 秀治



クラシノ
ソコアゲ
応援団！
RENGOキャンペーン
一人ひとりが主役です。

すべての場面で、ジェンダーバランスが確保された社会となる必要があります！その実現に向け、連合三重すべての運動に「男女平等参画推進」の視点を入れて取り組みます。



副会長 金森 美智子

女性の社会進出が拡大するなか、男女の差別をなくし職場で生き生きと個々が能力を思う存分に発揮できる環境をめざします。

自動車総連
三重地方協議会
議長 法所 誠

現代社会では、組織の活性化、新たな発想の側面から性別を含め多様性を認めることが重要視されています。電機連合三重地協は、様々な考え方、立場の人が生き生きと活躍できる社会をめざします。

電機連合 三重地方協議会
議長 小田 正亮

「男女平等」は、もはや議論の段階ではありません。自治労は男女双方の意識改革を進めながら、率先して職場や地域で男女平等の実践に努めます。

自治労 三重県本部
中央執行委員長 長澤 和也

男女共同参画社会の実現に向け組織改編を行い、3本柱「職場における男女平等」、「ワーク・ライフ・バランス」、「組合活動における男女共同参画」の実現に向けた取り組みを更に推進します。

UA ゼンセン 三重県支部
支部長 藤井 明彦

男女が共にお互いを尊重しあい、安心して働いていける職場、社会にしていけるために、幅広い観点から一歩ずつ確実に運動を進めていきたいと思ひます。

副事務局長 廣瀬 純子

三重県教職員組合は、あらゆる場合40%以上の女性の参画を積極的にすすめます。「男女」の自立と共生をめざし、ジェンダー平等や性の多様化の視点を大切にした教育をすすめます。

三重県教職員組合
中央執行委員長 中村 武志

JAM 東海三重連は、JAMの男女平等参画推進に向け、女性参画の必要性に対し理解を深めるため、地区協及び単組に対しアクションプランの周知と女性の意見を反映させる場を整えます。また、女性組合員と組合員とのコミュニケーションを深め、女性組合員比率の実態に合わせたアクションプランを推進します。

JAM 東海 三重県連絡会
県連会長 畑井 祐樹

全電線では、男女がお互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別を問わずその個性と能力を十分に発揮することが出来る男女共同参画社会の実現に向けて、意識の高揚や具体的な環境整備に取り組んでいきます。

全電線 三重地方協議会
議長 伊藤 善雄

JEC 連合三重地連は、男女がともに社会のあらゆる分野に参画できる男女共同参画社会を実現するために、働く場面で男女均等な活躍が出来るよう取り組みます。

JEC 連合
三重地方連絡会
議長 田所 伸吾

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを推進していきます。男女が共に尊重し合い「仕事と生活の調和」が図れる環境のもとで、誰もがいきいきと働ける職場環境を目指し取り組みを推進します。

執行委員 仮屋 志保
電機連合 三重地方協議会

男女平等の意識は向上してきており、様々な場面に於いて参加しやすくなる環境づくりと機会づくりに努めます。また、ワーク・ライフ・バランスの取り組みも併せて進めます。

私鉄総連
三重県協議会
議長 峯 孝二

男女が平等にいきいきと働き続けることができる職場づくりに努めるとともに、電力総連の「男女が担う労働組合への参画推進計画」に基づき対応していきます。

三重県電力総連
会長 番条 喜芳

男女がともに運動に参画する体制の構築が重要であるから、働く意欲がある女性たちが働き続け、意思決定の場に女性が参画して意見反映される社会を実現するため、意識の高揚や具体的な環境整備に取り組んでいきます。

JP 労組 三重県連絡協議会
議長 平井 一彦

労働人口が減少する中で、女性の活躍を促進する必要性が高まっています。男女がともに働きやすい環境づくりをめざすには、女性の組合活動への協力と、理解がより必要です。組合活動に女性が参画しやすい環境や、風土をつくり、女性活躍促進に努めます。

ゴム連合 三重県協議会
議長 松山 陽一

あらゆる場面において、男女がともに活躍できることが重要です。職場だけでなく労働運動においても、女性が意思決定に参加できるように、仲間づくり・ネットワークづくりを進め、元氣な女性(担い手)を増やします。

執行委員 深田 明美
自治労 三重県本部

私たち基幹労連は、男女がお互いに尊重し合い、共に力を合わせ、共に責任を分かち合うことのできる社会を実現するため「男女共同参画推進計画」を策定しました。これらから、これに基づいた活動を推進していきます。

基幹労連 三重県本部
委員長 東浦 敏久

男女共に充実した生活を送れるよう「ワーク・ライフ・バランス」の実現、男女平等意識の向上にむけた取り組みを進めます。また、労組役員・代議員選出などにおいても「連合推進計画」を意識し取り組みます。

情報労連 三重県協議会
議長 中村 元昭

組織を活性化させ、社会を前進・発展させていくためには、女性の組合活動への参画が必要不可欠です。まだまだ女性が少ない産業ですが、女性が安心して働ける職場を築き上げるため、引き続き、女性役員の選出をめざします。

運輸労連 三重県連合会
執行委員長 石川 秀樹

各職場における男女共生意識の高揚を図り、男性、女性とも仕事に対して働きがい、生きがい、やりがいを感得して、働き続けることができるよう、仕事と家庭の両立実現（ワーク・ライフ・バランス）に向けて、邁進してまいります。

JR 連合 三重県協議会
議長 入谷 政治

女性参画が比較的すすんでいる職場や労組に所属していますが、だれもが働きやすく暮らしやすい環境であるとはまだまだ言えません。男女を問わず多くの人と思いを共有し、あらゆる場で声をあげていきたいと思います。

執行委員 石橋 悦子
三重県教職員組合

男女平等参画社会の実現に向けて、多様な働き方を認め合う風土醸成、ワーク・ライフ・バランスの取り組みを推進し、男女関係なく、全ての人がいきいきと働いて活躍出来る組織作りを展開していきます。

フード連合 三重地区協議会
議長 稲垣 秀和

サービス連合では「男女平等参画推進計画」に基づき両立支援・男女平等推進に向けて取り組み、男女が共に仕事と生活の調和を実現する社会と組合活動への女性の参画拡大をめざしています。

サービス連合 中部地方連合会
議長 中山 雄貴

誰もが性別にとらわれることなく、仕事上の役割や家庭の責任を担うことのできる環境が必要です。ポジティブアクションの実践と「仕事と生活の調和」をめざし、職場風土改革に取り組めます。

全労金東海労働金庫労組
三重県支部長 森本 和之

男女共同参画社会の実現をめざし、仕事と生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）調和に向け男女共尊重しあえる環境づくりに取り組みます。

政労連
三重地方連絡会議
議長 油谷 昌俊

職場では男女が平等に活躍する機会を与えられ、無理なく家族との両立ができるような環境が整うことが必要です。ひとりひとりが充実した毎日過ごせるように男女平等参画の推進活動に取り組んでいきます。

執行委員 米倉 奈緒美
私鉄総連 三重県協議会

長時間連続労働と深夜労働が壁になり、女性の割合は2%以下です。当然、組合役員にも女性の姿がなく、男女平等参画にはほど遠い産業ですが、女性も働きやすい職場環境と勤務体系の構築を目標とします。

全自交 三重地方連合会
執行委員長 織田 雅孝

海運界全体で船員不足が顕著となる現状において、女性の活躍に期待が寄せられています。女性船員が安心・安全に就労できる環境整備に向け、使用者側に意識改革を求めるとともに、取り組みを強化してまいります。

全日本海員組合 名古屋支部
支部長 金子 浩行

性別やライフスタイル働き方に関係なく、誰もが参加できる労働組合活動を目指して活動のあり方について、見直しをしたいと思います。まずは労働組合の男女平等参画を実現し、職場社会へ変革の輪を広げたいと思います。

労済労連全労済 労働組合
総支部執行委員長 鶴田 将一

女性が退職することなく子育てや介護をしていける柔軟な働き方のできる制度の整備や職場風土づくりを進めます。

三重県一般労働組合同盟
会長 森田 哲也

男女が対等・平等で働きやすい環境、いきいきと働き続けられる職場づくりに努めるとともに、「男女平等参画推進計画」に基づいた活動や取り組みを推進していきます。

執行委員 福嶋 裕子
三重県電力総連

「火事場のバカリ！」我々 MIE ワーカーズクラブはジェンダー志向をなくすよう、まず男性が個人レベルでの意識づけを行います。そして、組織内からも意識を変える取り組みを行い、男女平等社会の推進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて活動を行います。

MIE ワーカーズクラブ
代表幹事 越智 隆匡

桑員地協では幹事会に特別幹事として、2名の女性に役割を担っていただいております。今後も、各組合での女性役員選出に向けて取り組みながら、地協の活動の中に働く女性の声を活かし、より良い組織づくり地域づくりを継続していきます。

桑員地協
議長 伊藤 久志

働きがいのある人間らしい仕事とワーク・ライフ・バランスの推進と実現に向けた取り組みをめざします。女性役員の輩出と女性リーダーの育成にも力を注ぎ、男女平等参画運動を展開します。

三酒地協
議長 岩間 正樹

誰もが働き続けられる社会の実現に向け、鈴鹿地協としても幅広い観点から課題改善に向け一歩でも二歩でも前進できる活動を推進してまいります。

鈴鹿地協
議長 吉岡 伸晃

男女がともに仕事と生活を両立できる環境を整え、多くの人が活躍できる社会をつくるには、多様な仲間が集まることが重要です。影響力を高めるためにも、女性の組合活動への積極的な参画に向け取り組みます。

執行委員 柘植 真理
JP 労組 三重県連絡協議会

連合亀山地協は、だれもが「仕事と生活の調和」「自分らしく成長できる環境」「くらしやすい社会」をめざして、亀山市・亀山市内の企業・加盟単組、新政策議員フォーラム亀山と連携しながら取り組みを進めています。特に、加盟単組の女性組合員の意見を反映した活動をめざすとともに、男女平等推進委員会を設置し、機能強化を図っていきます。

亀山地協
議長 夏本 伸宏

性別の枠にとらわれず、男女が平等で人権が尊重された社会の一員として、役割や責任を分かち合い、様々な活動ができるよう取り組みを必要とします。伊賀地協としても、各種研修会の実施や参加、女子会などを中心に、組合活動への女性の参加・参画をめざしていきます。

伊賀地協
議長 福原 勝

男女の本質的な違いを認め合い尊重し合う事で、共助し合える社会が自然に醸成されるのではないかと考えています。今後も津地協は、男女の共助社会構築を推進するべく、男女平等参画事業に積極的に取り組んでいきます。

津地協
議長 山口 登

松阪・多気地協では、単組での女性役員の登用を積極的に働きかけるとともに、女性委員会の活動の充実、女性役員・委員の各種研修会への参加を通じて、男女平等社会の実現に向けた取り組みを強化、実践していきます。

松阪・多気地協
議長 伊藤 暁広

働き続けるための選択肢がたくさんあり、性別の理由などに関係なく「やりたいこと」が実現する社会(会社)、そして個性と能力を十分に発揮することができる社会(会社)を目指します。

会計監査 山川 清美
UA ゼンセン 三重県支部

伊勢志摩地協は、幹事会に女性枠を設け女性幹事を増やし、男女平等参画が理念のみに陥らないよう努めます。また、男女を問わず共に能力を発揮し、活躍できるように各単組でも女性役員参画を推進し活動を進めます。

伊勢志摩地協
議長 西村 幸泰

男女平等参画社会の実現は、近い将来必ず実現しなければなりません。そのためには、男女を問わず全員が問題意識を持って取り組む必要があります。皆さんも他人事と考えず、ぜひ積極的な運動をお願いいたします。

紀北地協
議長 稲葉 武彦

働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）の実現のためには、男性も女性も一人ひとりが自分らしく社会や家庭で活躍できる「男女平等参画」が必要です。働きやすい環境づくりや組合活動への女性の参画を応援していきます。

紀南地協
議長 寺本 育史

女性が活動に参加しやすく、男女それぞれの意見が反映できるように、環境を整備し、男女平等に対する意識の向上にむけ、さまざまな取り組みをしていきます。

亀山地協
事務局長 岡安 祐子

全電線では、組合機関への女性参画に向けた環境整備に努めるとともに、各種協議への参加についても積極的に取り組みます。また、6月を「男女平等強化月間」とし、各単組・各地協における男女平等に向けた活動の支援活動を行います。

会計監査 北村 智美
全電線 三重地方協議会